

## 「文化芸術活動の継続支援事業」改善についての要望

令和2年9月1日  
文化芸術推進フォーラム

文化庁による「文化芸術活動の継続支援事業」は、新型コロナウイルス感染拡大による公演・イベント等の中止により仕事を失った実演家、アーティスト、スタッフおよび芸術団体が、今後、仕事を継続していくために設けられた画期的な制度として500億円あまりが補正予算として確保され、文化芸術界は大きな期待をもって迎えている。

しかしながら、個人を含めて幅広い文化芸術関係者を対象とする補助金であるため、制度が複雑で募集要項が難しく、実演家、アーティスト、スタッフもこのような補助金は初めての経験であるため、申請内容や書類に不備が発生している。また、審査当局も制度についての習熟度不足から、採択の遅れと混乱が発生し、申請自体を控える雰囲気広がるなどの問題が発生している。

コロナで停滞している文化芸術の灯を守り、継続、発展させるため、意義あるこの制度を活用できる環境を整えるため、以下のとおり改善を要望する。

### 1) 新型コロナウイルス感染症の拡大状況に鑑み、制度内容を抜本的に改善し事業実施期間を2021年2月末までとする第2期募集を実施すること

#### 2) 申請から採択、事業実施から報告、清算事務の処理スピードの向上を

第1次、第2次募集に対する申請数に比べ採択件数が極端に低い状況にある。その原因は申請が差し戻される例が頻発し、修正後も直ぐに回答が来ないなど、事務処理の停滞が明らかである。細部に拘ることなく緊急事態に対応する本事業の趣旨に適った審査方針を確立し、審査担当者の習熟度向上など処置すること

また、事前確認団体から事前確認番号のある申請については審査の簡素化、概算払いの早期化など特別の措置を設けること

#### 3) 申請制限等を緩和し、制度内容を見直すこと

1. 制度の活用促進をはかるため申請制限等の緩和を

- ・ A-①事業に申請した個人がA-②事業に再度申請する道を開くこと
- ・ B事業に申請した団体が個人事業者と組んで新たな共同申請する道を開くこと
- ・ 共同申請を有効に活用するため、窓口団体要件、煩雑な手続きなど内容・運用の見直しを図ること
- ・ 精算業務に向けて精算書類等の簡素化を図ること

2. 「募集案内」、入力フォームなどの用語が実演家、アーティスト、スタッフの感覚とずれているため、記載内容、書類不備により申請の差し戻しの原因となっている。説明内容、用語の修正、記入例の掲載、申請主体、共通事項などに区分した募集案内の分冊化、申請を促す概略版の作成など改善すること

以上の改善を、第3次募集から、速やかに取り入れること

#### 4) 本事業の幅広い浸透、応募促進を図るための事業実施を

本制度を有意義なものとして実施するために、本制度の運用に大きな役割を果たしている事前確認団体及び関係文化芸術団体に、本事業の幅広い浸透、応募促進を図るために業務委託するなど積極的な浸透事業を進めること

以上